

## 事業実績シート（研修及び調査・研究）

### 1 事業の概要

<b>協会事業名</b>	<input checked="" type="checkbox"/> 研修機関派遣事業（ <input type="checkbox"/> 市町村アカデミー <input type="checkbox"/> 国際文化アカデミー <input checked="" type="checkbox"/> NERC） <input type="checkbox"/> 地方4団体研修及び調査・研究事業			
<b>自治体(団体)事業名</b>	長崎県建設技術研究センター派遣事業			
<b>所管局部課</b>	自治体（団体）名	所管部・課名	担当者名	連絡先（TEL）
	南島原市	総務部人事課	楠田 純加	050-3381-5021
<b>事業期間</b>	開始年	平成20年 4月 1日（8年目）		
<b>事業実施手法</b>	<input checked="" type="checkbox"/> 全部直営 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> その他[                      ]			
<b>実施期間</b>	(開始日) 平成27年 5月12日                      (完了日) 平成27年 5月12日			
<b>委託した場合の委託内容</b>	委託先機関名	担当者名	連絡先（TEL）	
	(委託内容)			
<b>研修及び調査・研究の目的</b> ※実施前に予想していた目標・目的を記載ください。	対象（誰を・何を）	目標・目的		
	南島原市職員	高度で専門的知識の習得や能力の向上を目的とする。		
<b>研修及び調査・研究の具体的内容</b> ※事業をまったく知らない人でも、事業の実施内容や実施方法の概要が分かるように記載してください。	<p>長崎県建設技術研究センターにおいて開講される市町職員を対象とした研修に職員を派遣し、建設技術に関する専門知識を習得することにより、職員の資質の向上、市民サービス（行政サービス）の一層の向上を目指すもの。</p> <p>本助成事業は、市町職員が受講のために要する経費に対し一部（実費額の2/3の額）を助成することにより、当該研究センターでの研修受講を促進し、職員の資質向上と住民サービスの向上を目的とするものである。</p>			
<b>研修及び調査・研究の背景、これまでの経緯及び現状</b>	(事業開始の背景)			
	<p>社会のニーズの変化に対応して、建設技術者の技術力と資質の向上を図るため、長崎県建設技術研究センターにて建設事業の執行に必要な研修が行われており、本市でも職員の資質の向上、市民サービス（行政サービス）の一層の向上を図るため職員を派遣するもの。</p>			
(経緯・現状)				
<p>職員に求められる知識や能力については、高度で専門性の高いものが求められてきていることから、できるだけ職員を受講させたい。</p>				

事業実績シート（研修及び調査・研究）

2 実績結果

事業費の推移		前々年度決算	前年度決算	当該年度決算				
事業費（円）			2,000	14,360				
（財源内訳）	国庫支出金							
	県支出金							
	地方債							
	その他							
	市町振興共同事業助成金		1,333	9,572				
	一般財源		667	4,788				
目標・目的指標	指標名		指標設定の考え方	単位	区分	前々年度	前年度	当該年度
	①	長崎県建設技術研究センター 一研修派遣職員数	年度内派遣職員数	人	目標		0	0
					実績		1	2
					目標達成率（％）		-	-
	②				目標			
					実績			
目標達成率（％）								

3 事業の振り返り

必要性の点検	（1）実施することによるメリット	
	（内容、程度等） 社会のニーズの変化に対応して、各分野における専門性の高い研修を受講することにより、建設技術者の技術力と資質の向上が図られる。	

## 事業実績シート（研修及び調査・研究）

### 4 有効性の点検、実現性の点検

有効性の点検	(1) 目標（目的）指標の達成状況	
	<input checked="" type="checkbox"/> 目標（目的）指標の実績値は、目標をほぼ達成した <input type="checkbox"/> 目標（目的）指標の実績値は、目標を下回った	
実現性の点検	(2) 実施前、想定していた目標・目的が達成できた理由またはできなかった理由	
	職員の能力開発に対する意識・関心の高まり。	
実現性の点検	(1) 事業への反映	(具体的内容)
	<input checked="" type="checkbox"/> 成果は事業（実務）に反映できる <input type="checkbox"/> 成果は事業（実務）に反映できない	研修で得た知識を活かして、業務の効率化や精度の向上が図られている。
	(2) 公共性の評価	(具体的内容)
	本研修及び調査・研究を通じて <input checked="" type="checkbox"/> 住民へ利益を還元できる <input type="checkbox"/> 住民へ利益を将来的に還元できる <input type="checkbox"/> 住民へ利益を還元できない	研修受講により、職員の資質の向上が図られ、よりよい住民サービスの提供が可能となる。

### 5 今後の方向性

必要性の点検から	<input type="checkbox"/> 事業休止	<input type="checkbox"/> 事業廃止	<input type="checkbox"/> 民営	<input type="checkbox"/> 事業終了（完了）	■現状維持
実施予定時期					
有効性の点検から	<input type="checkbox"/> 目標・目的未達成	<input type="checkbox"/> 目標・目的達成	<input type="checkbox"/> 類似事業との統合		■現状維持
実施予定時期					
実現性の点検から	<input type="checkbox"/> 事業へ反映	<input type="checkbox"/> 事業に反映できない	<input type="checkbox"/> その他		■現状維持
実施予定時期					
具体的内容	特定の分野における高度な専門的知識を得られる研修であることから、今後も当該事業の継続が必要と考える。				